

## ■ 国際ビジネス

SMFGでは、三井住友銀行の国際部門を中心に、内外の企業、金融機関、各国政府・公営企業等の、グローバルに事業展開するお客さまに対して地域特性に応じた高付加価値なサービスの提供に努めています。

三井住友銀行では欧州、米州、アジア・大洋州、中国と4つの地域統括部を設け、地域によって異なるマーケット特性への迅速な対応を確立するとともに、各地域におけるネットワーク強化を推進しています。当行拠点だけでなくグループ会社や海外現地法人、地場銀行との提携等を有効に活用し、競争の厳しい国際マーケットにおいて常に最先端の情報とサービスを提供し、お客さまが世界各地で直面される各地域特有の課題にも最適なソリューション提供ができるように目指していきます。

### Topics

#### ◆海外金融機関との提携・出資戦略

アジアでは、各国・地域ごとに特性を活かした提携戦略を実施しており、既にベトナム、台湾、韓国、インド、マレーシア、フィリピンにおいて地場金融機関と提携を開始しています。平成20年においては、前年に提携を開始しました韓国最大手の国民銀行と10月に資本提携を含めた提携拡大で合意し、続く11月には中国本土および香港で中小企業・個人取引と地場金融商品に強みを持つ香港の民間大手銀行である東亜銀行と業務提携に合意しました。引き続き多面的なアプローチでアジアへの取り組みを強化していきます。

グローバルでは、平成20年7月に英国の大手金融機関パークレイズ・ピーエルシーへの出資を行いました。お互いの強みを活かし補完し合う関係の構築を目指していきます。



#### ◆温室効果ガス排出量取引

三井住友銀行は、ブラジル現地法人であるブラジル三井住友銀行の傘下に、クリーン開発メカニズム(CDM)事業にかかるコンサルティングを行う全額出資子会社を平成20年9月に設立しました。地球温暖化防止に関連して、わが国の京都議定書の目標達成、途上国の持続可能な発展に貢献することを目的とするものです。SMFGの社会的責任(CSR)を重視し、今後も環境関連事業を推進していきます。

※クリーン開発メカニズム(CDM)とは、先進国が投資国となり、途上国において温室効果ガス削減プロジェクトを実施し、その削減分を第三者機関による認証を受けた後(認証後の削減量CER:Certified Emission Reduction)、当該先進国の排出枠として転移することが可能となる制度です。

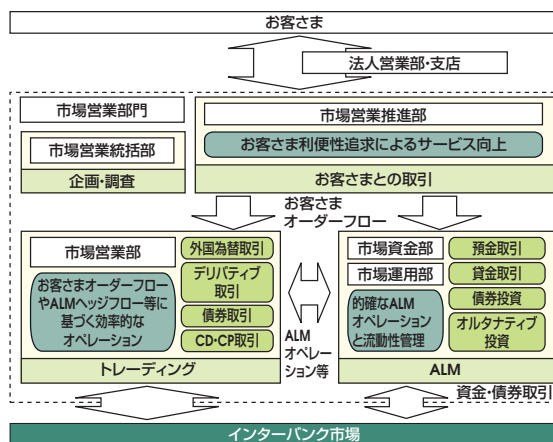
## ■ 市場性取引ビジネス

SMFGは三井住友銀行の市場営業部門において、資金・為替・債券・デリバティブ等の取引を通じ、高度化・多様化するお客さまの市場性取引ニーズにお応えし、より付加価値の高いサービスの提供に努めています。

市場営業部門では①お客さまからのオーダーフローの拡大、②ALM体制・トレーディングスキルの強化、③運用手段の多様化とポートフォリオ運営の徹底、の3点を軸に、適切なリスク管理のもと、内外のマーケット動向をタイムリーにとらえ、収益力の維持・強化に注力しています。

今後も、お客さまとの取引においては、引き続き市場性取引ニーズに万全にお応えし、業界最高水準のサービスでフルサポートしていくことを目指します。

また、ALMなどのバンキング業務とトレーディング業務を通じ、市場リスク、流動性リスクをコントロールしつつ、引き続き相場環境に応じたリスクアロケーションを行い、安定的な収益確保を目指していきます。



### Topics

#### ◆お客さまのニーズに合わせたサービスの拡充

「i-Deal」(インターネットを通じた為替予約等の締結システム)の機能向上を継続的に行っています。平成20年度上期には、新たに為替リスクシミュレーション機能を追加し、お客さまの利便性が一段と向上しました。

#### ◆適切な市場オペレーションの実施

市場環境の変化に応じ、証券化商品などを早期に売却する等、適切な市場オペレーションを実施しています。